



http://www.okaasan.net/

お母さんの視点で社会を見る 百万母力のMJ マザージャーナリズム

「お母さん大学サイト」では、全国のお母さん記者(MJ記者)が、日々の子育てやつづやき、地域の活動について、元気に発信しています。ぜひ遊びに来てください。

情報って大事。でも…

何かにつけて、パソコンをパチパチ打って検索する私。旅行先、レストラン、仕事の営業のコツ。1人目のときは、子どもの発達・発育、トイレトレーニング、偏食…もう本当に何から何まで！長年の仕事で検索の腕が向上しているせいもあり、けっこう、欲しい情報があつという間に得られます。



でも本当は…。クチコミ評価が高いレストランで食事をするよりも、ブラッと入った名もない店で、意外と美味しかったほうがよほどうれしい。子どもの成長にしたって、育児マニュアルの成長基準にいちいち照らし合わせなくても、目の前の子どもを見ていれば大丈夫！レシピにしても、ネットには何百万ものレシピがあつて便利だけど、冷蔵庫を開けて、これとこれとこやって…と、自分でも意外なものがつくれちゃう。



ランキング、クチコミ…と、情報全盛の世の中。もっと自分の感覚を大事にしよう。自分の目の前のことをよく見よう。そう思うのです。

(ヒラノ瑞子/ドイツ)

母の日のプレゼント

今日、幼稚園にお迎えに行くと、うれしそうに娘から渡された「母の日のプレゼント」。

聞くと、先生とマンツーマンで「お母さんの髪の毛はどんな色かな？」と話しながら、色も自分で選び、自分でぜんぶ描いたそうです。「年長さんになるとみんなで描けるけど、年少さんは絵を描くということもわからないからね。だから2日間、それぞれ2時間をかけて一緒に話しながら描くの。そのときの話が面白いのよ～」と先生。



娘が通う幼稚園はとっても小さな幼稚園。新入生は3人しかいない。だからできることなんだろう。それにしても、娘はいったいどんな風に私のことを話したのかな。ちょっと聞いてみたい気もして…。

娘にもらった初めての「母の日のプレゼント」。娘のうれしそうな笑顔と、先生の子ども一人ひとりに対する愛情が、なんだかとてもありがたかった。



明日は、額縁を探しに行こう。そして、部屋の中で一番よく見えるところに飾ろう。きっと父の日にはお父さんの絵もくるだろうから、並べて飾ろう！

(池田彩/久留米市)

スゴイ！のアンテナ

最近の私の口癖は「スゴイ！」です。子どものことも自分のことも、他人のことも。木や花など自然のことも、何かの機械や仕組みのことも。何でもかんでも、スゴイ！って思っちゃうんです。



そんなとき、大親友のママ友に質問されました。「子どもがスゴイ！と思うときって、どんなとき？」。私は、最近スゴイ！と感動したことを何個か挙げました。

「弟(3歳)が『このぼり』の歌を歌えるようになったこと」「お姉ちゃん(5歳)が弟にはすぐ手を上げちゃうけど、お友だちには思っていることをちゃんと言葉で伝えていること」「子どもがほかの子の姿を見て学び、今までできなかった何かができるようになったこと」「子どもが発した感性豊かな表現のこと」「お友だち同士で、お互いをほめ合っていること」などなど。

話しながら「大したことではないんだな…」と気づきました。豪語するほどのスゴイ！ことではなく、意識しなければ大したことではない出来事ばかり。でもその些細なことがスゴイ！と思っちゃう。「スゴイ！と思うだけで幸せ気分が味わえてしまう私って、お得かも」って思いました。スゴイ！のアンテナは無限大です。



(杉本真美/平塚市)

お母さんでよかったあ



もうすぐ2歳になる娘。このところ、急激な進化(成長)を遂げている様子。

たとえば、何でも「ママ、みててー！」と言ってからやる。台からジャンプ。牛乳ごくごく。よーい、どん(走る)。寝たふり…。



「うわあーすごいねー！」と言って凝視すればするほど、鼻がふくらみやる気が起きるらしい。

こんなとき、「お母さんってやめられない」と、つくづく思う。

さらに、今日の出来事。

私が新聞を読んでいたら、「はい、海苔ですよ。おいしい？」「ん？からい？」という声が聞こえてくる。見ると、2歳のお母さんが、食事のお世話をしていた。

キューン。じーん。お母さんでよかったと思える瞬間だ。それにしても、海苔の次にすすめているのが、ウイスキーだなんて…(汗)。

(打海可奈子/川口市)



親子亀プロジェクト お母さん業界新聞地域版編集長紹介⑤



「ねえ、どうどう？」「ん、100点！」。すみませ〜ん、お惚気です。わが家は一女六男の大家族。息子の嘔吐風邪に母の入院。息子の足の精密検査…と毎日いろいろあるんですけど、いろいろあるから人生、よくよく考えてどれだけ足り引ききしても、私は幸せだなあと思うんです。家事もおろそかになり、記事もうまくできなくて、ノリや紙くずがちらかつていても(切り貼り新聞なので)、神の手か？と思えるようなチャーハンを小6の息子がつくってくれます。高3の娘は私の記事にダメ出ししながら、家事や育児をしてくれま〜す。そして小学生の頃、図工でたった私が描いたイラストも、子どもたちは「すごい上手！」と口々にほめてくれます。新聞をつくっていると、ありがたいなああって思うことはばかり。だから、見えないたくさんのありがどう見つけ、それを綴ることであつたかいい心をつなげてもらっていることを伝えられるような、それが地域や子どもたちの未来につながるような、そんな新聞を目指して(夢は大きく〜)、「はじめのどすと一歩」です。

ようやくできた「長崎佐世保お母さん版第1号」。新聞をつくるって楽しすぎる！すごい学びです！まだまだ自己満足ですが、お母さんのあつたかいい心をつなげる新聞を目指してがんばります。(田川亜寿香/佐世保市)

佐世保お母さん版



●佐世保お母さん版コンテンツ
げんき♡人/うた・うたい・うたおう/宝さがし、他

お母さん大学生限定コミュニティサイト「SNS夢ひろば」

お母さん大学の学生たちが、ウェブ上のコミュニティで、毎晩、ワイワイやっています。あなたも参加しませんか！(SNS夢ひろば ちょこっと紹介)

手渡しプロジェクト

『お母さん業界新聞』を、地域のお母さんたちへ手渡しするプロジェクト。つながろう、百万母力！みんなで渡せば、百万母力！
(杉本真美)

日本一の「お母さんのコミュニティサイト」

お母さん大学のウェブサイトをもっと日本一のお母さんサイトに。ウェブから百万母力のウェブを起こしたい。世界中の人たちに、お母さんの心を感じてもらおうサイトを目指します。
(加藤知子)

お母さんで働く！～母力全開ワーカーズ～

子育て中だからこそできる新しい働き方を開拓しよう。お母さんの感性を生かした仕事。こんな仕事あったら楽しそう。いろんなアイデアを出して、未来の仕事をつくらう！
(村本聖子)

百万母力プロジェクト

百万人のお母さん笑顔にする、母親の母親による母親のためのプロジェクト。日本中のお母さんに「お母さんの心」を伝えよう。
(編集部)

虐待について考える 私たちにできることは？

虐待に苦しむ子どもが一人でも減り、大切な命を一つでも守るために、私たちにできること、一緒に考えてみませんか？
(かも)

「母を語る」～共に幸せになるためのめぐり愛～

「誕生日に母を語る」は、お母さん大学のオフィシャル企画。自分の誕生日に、自分を産んでくれた母を思いながら、母である今を感じよう。
(にしおなおみ)

親子新聞部

新聞は子どもを育てるために必要なツールです。「家庭に新聞を」。新聞を読んで、お母さんのステージを広げ、母力をUPしよう。
(大谷聡穂)

音楽科

百万母力オーケストラ、百万母力合唱団、メンバー募集中。楽器が弾ける、歌うことが好きな人、音楽が大好きなお母さん、全員集合。東海、埼玉、神奈川でスタート。あなたの町でも始めませんか？
(白神由美子)